제78호 1920. 9. 20.

京城日日新聞

殖民地概說(五)

拓殖局編

第六章 殖民地の産業

第四節 水産業

一 漁業の種類 樺太に於ける漁業の種類は現行漁業制度に於て免許漁業は定置漁業、區劃漁業及專用漁業に區別す、定置漁業は鰊、鱒、鮭の定置漁業及雜漁業とす、區劃漁業は海苔、介類、魚類の養殖業、專用漁業は漁業組合の出願に係る地先水面專用漁業とす……

六 施設機關 漁業は本島の產業なるを以て漁村の開發に……

戰後の歐米(九)

木村雄次

政界茶話

白髮翁

米國政界の新勢力(續)

婦人參政權影響

創作 熱光の下(十二)

曉谷

ラクトーゲン

乳の素

お湯さへあれば
何時何處でも
即座に新しい
お乳を得られ
嬰兒は母乳の代りに
病人虛弱者の滋養に
最良最適
牛乳や煉乳のとても及ばぬ
品質の優秀効果の著しきは
全國醫家の推奬盛な所以です

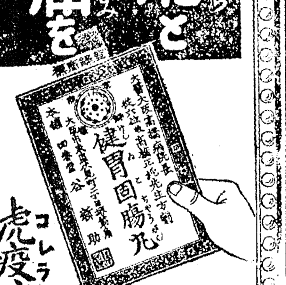
小罐(生乳約一升二合分) 中罐(小罐の二倍入) 大罐(小罐の六倍入)



發賣元 大阪 乾卯商店

下痢と腹痛を治し腸胃を健全にす

登錄商標



虎疫流行時の家庭にも旅行にも必ず用意すべき腸胃藥

虎疫豫防の第一要件は本劑を常備し腸胃の健全を計るにあり

健胃固腸丸

小兒には專門の小兒固腸丸あり

新型投賣品



總本店 倉持靴問屋

男女の肉的變化

太閤堂

談話演說の洒落

純山葛

滋養豐富 丹波

金山日報代理部

女の秘密

郁榮堂

古本高價買入

群書堂

永樂醫院

花柳病科

香山醫院

梅毒淋病に苦しむ人は本劑あるを未だ知らざる方なり

特約店募集

香山製藥合資會社

虎疫豫防 仁丹

内外電報

佛大統領辭任發表

佛大統領デシャネル氏は辭職を發表せり閣議議長ミルラン氏は[illegible](巴里來電)

佛國民議會召集

公報に依れば辭任せる佛大統領デシャネル氏後任選擧の件を審議すべく[illegible]ヴェルサイユに國民議會を召集すべしと(巴里來電)

佛國大統領問題

ミルラン氏立たず

佛國大統領デシャネル氏の辭意を決するに至りしは遂に同氏が列車より墜落したる爲なり首相ミルラン氏は後任大統領たるの意思なき旨發表せり(巴里來電)

過激派軍總司令

エンヴエルパシヤ起用

莫斯科よりの電報によればエンヴエルパシヤはレーニン、トロツキー兩氏の要請に依り印度に向け進軍中なる過激派軍司令官に任命せられアフガニスタン、トルキスタンに於ける過激派軍はエンヴエルパシヤの麾下に置かれたりと(倫敦來電)

政府勞働者に味方す

羅馬來電に曰く從來勞働者側に對して[illegible]伊國政府は十六日勞働者側及び資本家側代表者と會見したる結果今や明確に勞働者に味方するに至れり首相ヂオリツチ氏は[illegible]管理に對する勞働者の監督權[illegible]

罷業解決委員任命

伊太利首相ヂオリツチ氏は目下紛擾中なる職工騷動の解決を計る目的を以て[illegible]委員を任命したり(紐育來電)

排日案の前途

形勢愈々多難

邦人移民問題の解決は益困難ならむとする形勢あり在留日本人の子供をして米國市民權を獲得せしむる事を禁ずる事を要求する決議案を滿場一致可決し[illegible]ポインデツクスター氏は民主黨[illegible]選擧戰政策上排日を[illegible]學戰政策上排日を[illegible]如き事實は即ち我移民問題[illegible]日本國民に對して其他諸外[illegible]解決を有し得るや否[illegible]協定に基き承認す可きや否やを[illegible]あらず(紐育來電)

大統領選擧前哨戰

共和黨大捷戰を博す

米國大統領選擧の前哨戰として[illegible]注目を惹き居れるメーン州[illegible]民主黨をして顏色なからしめ[illegible]多數にて共和黨大捷を博せ[illegible]打擊を被れるは勿論今[illegible]投票差數を少から[illegible]見るに至りしものなり

コ氏對日態度聲明

民主黨大統領候補コツクス氏は十七日夜桑港公會堂に於て加州排日問題に對する態度を聲明すべしと(桑港來電)

モルガン會社爆破さる

紐育ウオール街に於けるモルガン會社の爆發現場は十六日に至る迄警戒嚴重なる警武の下に爆發の死傷者は詳細不明なるも[illegible]

蒙古自治熱旺盛

布告庫倫に戒嚴令

蒙古の自治復活運動は益旺盛となり十六日庫倫に戒嚴令を布告せられたり(北京來電)

陸氏停戰を提議す

陸榮廷氏は十五日廣東軍總司令陳炯明氏に對し彼我互に兵を交ふるの所謂無きを以て直に停戰せむ事を懇請せり(廣東來電)

南支方面戰機迫る

陳炯明氏は廣東惠州間に駐在し居れるが十六日部下に五日以内に惠州を陷落せしむ可しと言明せり廣東軍政府及び督軍署は若し惠州陷落せば形勢に據り防禦策を講ず可く準備し居れりと(北京來電)

長距離無線試驗

太田總領事發外務省着電八月二十一日當地新聞紙の報ずる所に依れば當地無線電信局は二十一日午前一時佛國ボルドーラフアイエツト無線電信所より長距離無線電信第一回試驗を行ひたるに其の成績良好にして世界的記錄を破れるが該通信試驗は引續き一ケ月間施行せらるべき趣なり(桑港來電)

將士緊張の色あり

十七日午後四時五十分○○隊○○○聯隊に對して編成命令下り○○出發隊は陸路○○に向ふべし將士皆活氣付き緊張の色深ひ出發準備に忙し(○○來電)

增田貿易大連支店破綻

鮮銀に財産全部を差押へらる

增田貿易會社大連支店は朝鮮銀行への負債の爲め突如支店の所有財産全部を差押へられ其波動は京都大阪の各支店に及ばんとしつゝあり從來鮮銀より同支店への債權は內外荷爲替其他全部にて約二百萬圓位にて右は會社側の方針鮮明を缺ぎし故此際正式の手續を濟ませたるものなりと(東京來電)

東證資金充實

東亞證券商品會社問題に就きては奉天證券社長手塚氏東上資金問題に就き同社杉浦常務と交渉を開始したるが愈近く二百萬圓を投資す可く決定したるを以て杉浦氏は廿日頃手塚氏は月末迄には各歸奉の途に就き來月早々より市場開始の豫定なりと尙ほ二百萬圓は都合に依り兩三回に亘り送附すべき豫定なりと又取引所公認問題も赤塚總領事大いに努めたる結果極めて順當に進捗近く公認さる可き豫定なり(奉天來電)

民間飛行奬勵

支那も各國に倣ひ民間飛行奬勵の爲め陸軍部にては之に關する規定起草中なりと(北京來電)

豫算出揃期は

來月上旬乎

朝鮮總督府の明年度豫算は未だ一も中央政府に回附し來らざるが如し遣は其提出の豫定にて其時期は早くも來月上旬なる可し明年度は何れも目新しき新規事業は殆ど之無かる可しと(東京來電)

軍司令官視察

軍司令官大庭中將は後藤參謀外三名を隨へ十七日午後九時廿五分着列車にて來元十八日元山視察午後三時安遼丸にて北行せり

會計檢査官出張

十八日左の通り辭令ありたり(東京來電)

會計檢査院副檢査官 大澤清高

朝鮮總督府及所屬官署會計實地檢査官として出張を命す

三知事東京着

上林咸北知事時實忠南知事李咸南知事は十八日朝入京せり赤池局長は途中靜岡にて靜養廿日到着の筈なり(東京來電)

女教員團下關通過

朝鮮公立普通學校女教員內地見學團一行は十八日朝着關直に山陽ホテルに於ける下關市主催の茶話會に臨み同十時發急行にて岡山に向ひたるが鮮女教員內地見學團は始めてのことゝて當地に於ける歡迎盛なりき(下關來電)

教育北鮮視察團

教育北鮮視察團名村大阪每日特派員外一行十名は十八日入港の立神丸にて上陸各所の歡迎を受け市內巡覽の上夜半出帆の同船にて北行せり(元山來電)

天津綿糸暴落

綿糸の惨落に拘らず天津の棉花市況は地方の凶作を見越し同業間の空賣買盛に行はれたる爲市價を頗る強調に維持せるが最近に至り地方凶作は疑ひなきも棉作面積は殆ど倍[illegible]

中鐵臨時總會

三百萬圓社債發行

朝鮮中央鐵道會社は十八日午前十時鐵道協會にて臨時總會を開き左記意見を附議決定せり(東京來電)

一、金三百萬圓を限度として社債又は借入金を爲すこと[illegible]

在京鮮支人惡化

日曜學校大會を機とし何事をか劃策せんとす

[illegible]米國議員團の入京に際し[illegible]鮮支人團が議員團に接近し排日行動を行はむとしたる爲め當局は之れが取締に苦心したるが彼等は其の際意を果し能はざりしにより去る九日在京支那人總代の名を以て秘密印刷物を配付し當局を攻擊し彼等の計畫せる女學生團の歡迎歌合唱歡迎宴及演說會示威運動等の全然徒勞に歸したるを憤慨し居れりとの事にて之れが爲め支那人等の最も多く居住せる神田方面に向つて

徹宵嚴探

の歩を進めつゝあり而して近く開催せらるゝ世界日曜學校大會に世界各國より政治家實業家多數參列すべく彼等鮮人等は再び此大會を利用して何等かの行動に出でむとするも計られざるを以て警視廳にては油斷なく徹底中なるが來會者は

世界優秀

なる總て理解力ある紳士淑女のみなるを以て今回の如き純然たる宗教的會合が政治的に利用され又は利用されむとするを許さざるべしと雖も米國議員團の際とは異り今回の會議に際しては彼等鮮支人が容易に來會者に接觸する事を得べければ取締は最も嚴重なるべしと

道知事訓示(四)

對府尹郡守

五、地方行政に關する件

對し朝鮮語獎勵

朝鮮語學の研究は職を地方に奉ずる者の職務遂行上必要なるは勿論內鮮人間の融和親睦を圖るに必要なるは喋々を要せず殊に地方官吏に在りては日常民衆に直接し在地指導獎勵の任にあるを以て朝鮮語に通達するの要一層切實なるものあり依つて朝鮮語獎勵の爲め講習會を開きて之に基礎教育を授け又近く試驗を行ひ其成績に應じて手當を支給するの途を開かむとす各位は克く此趣旨を諒し技術員をして朝鮮語の練習に努められむことを望む

六、共助組合に於ける貸付金の回收

客年旱害罹災民の救濟に關しては國費の救助と相俟つて共助組合の設置其他各地方適切の方策を講じたる結果幾多罹災民に苦しむ者を出さず救濟の實を擧ぐることを得たるは誠に欣快とする所なり而して各共助組合に於て罹災民に食糧を貸付したる額は實に六十餘萬圓に達し之れが回收は各位の責任にあるを以て夫々相當の方法を講ぜず[illegible]

七、農産物の改良增殖

(一)面作物種子田は優良品種普及と其の退化劣變を防止し以て米麥の改良增殖を目的とするものにして其の成績の如何は郡に於ける生産に影響すること大なるを以て例年各郡の經營は面に委することあるも郡は常に十分の指導監督を行ひ以て目的の達成を期すべし

(二)農産物の增殖に施肥の增加を圖るは最緊要の事項にして本件に關しては一層自給肥料の生産に力を用ふると同時に一面地方の狀況を考察し大豆粕の如き金肥の施用を奬勵する必要あり然れども農民は金肥に關する智識尙乏しく爲に其の選擇若くは用法を誤りて成績良好ならざるが如きことあらば今後の獎勵を挫折するの虞あるを以て獎勵當初に於ては最も指導を懇切にし以て金肥の效果を的確に擧げしむることを期すべし

(三)緣の米作に及ぼす害の甚大なるは今更多言を要せざる所にして其の除知に關しては從來郡面に於ける指導督勵の效果稍見るべきものありと雖も尙遺憾の點少からず依つて郡は夙に定めたる「農作物改良增殖計畫」第十一項の趣旨に基き極力其の除知を奬勵して被害の輕減を期すべし

八、蠶業の奬勵と取締

一、蠶業の奬勵計劃

蠶業は重要なる農家の副業にして[illegible]

九、畜産の改良增殖

畜産奬勵の手段として數年來實施し來りたる民有保護牛の指定に就いては種々の批難を免れざりしを以て本年度に於ては之が整理の計畫を樹て蓋に保護種牝牛及同種牛全部の解除を斷行したるは各位の既に諒知せらるゝ所にして更に本月末を期し保護種牡牛の一部を解除し之に代ふるに畜産組合有の種牡牛を以てし殘餘牡牛整理に就ては來年度より向ふ二箇年を期し全部之を組合有に改めむとす依つて各位は此趣旨に依り組合の指導に努めらるべし

十、水利灌漑事業の奬勵

(一)水利灌漑事業の奬勵に方に關しては曩に指示する所ありしと雖も未だ其の實現を見ざるものあるは洵に遺憾とする所なり是れ或は地勢の關係又は財界不況の影響等に起因するものあるべしと雖も尙一層徹底的に奬勵を加へ事業の勃興を期せられむことを望む

(二)大正元年以來小堤堰の灌漑施設に對し地方費補助を與へ堤堰及伏の修繕及復舊又は新築の爲さしめたるもの九十二箇所之が灌漑面積の增加二千六百五町歩に達し九萬二千圓補助費五萬一千圓にして潛漑面積の增加を見るに然るに年を閱するに從ひ補助せられたる堤堰及伏は其の管理宜しきを得ず破壞の儘放置され甚だしき[illegible]

十一、國有未墾地利用

[illegible]

蠶糸救濟

政爭の具に供されん

樂觀を免さゞる同問題の前途

某蠶糸業者談

[illegible]朝鮮蠶業者の間題[illegible]

綿價維持

の施設を見るに[illegible]

財政上の

關係ある一面彼の大隈內閣時代帝國蠶糸會社を設立し補償金交付の爲め責任支出を實行せるを政友會が憲法違反なりとて非難攻擊したる事例あるを以て今更政府が假令補償金交付の最良法なるを認むるとも其斷行は到底不可能なるべく之に對して

憲政會は

補償金交付を主張すると共に政府を以て黨略に拘泥せりとして必ず是を攻擊すべく斯て本問題は一轉して政爭の問題とならんとするの虞あるのみならず更に中央會の案にして若し兩政派の案と相違の點あらば愈々紛糾を來して決する所なく

荏苒日を

過ごす裡に秋蠶の出廻り終了すべきを以て肝腎の蠶糸家は何等の恩惠に與らざる事となり蠶糸救濟は徒らに製糸家

財界の一隅より

▲京取市場の沈衰は既に其極度に達するものあり、到底此儘に放任せば諸命保ち難きもの之有候各重役諸君に於ても暗中大分頭痛鉢卷の御様子に見受けられ候へ共未だ何等の御名案の示さるゝものも無く誠に心細き方々と影乍ら同情に堪へざる次第に候

▲東京取引所に於ても重役會議など開催されて市場救濟問題等連りに協議されつゝある模様にて仲買側への對策等も大分頭を惱まし居る模樣に候が一方仲買人に於ても臨時總會など開きて負債償却等を協議せる有樣所は變れ品は變らぬ株式界の慘めさは何れも同樣と察せられ候

▲內地經濟界も未だ安定を見せず相變らず不振の模樣にて全國組合[illegible]

▲總勘定 銀行勘定は左の如き數字を以て示されたり

	八月末	前月末比較
拂込資本金	[illegible]	[illegible]
積立金	[illegible]	[illegible]
預金 定期	[illegible]	[illegible]
預金 當座	[illegible]	[illegible]
預金 特別	[illegible]	[illegible]
預金 通知	[illegible]	[illegible]
預金 諸預	[illegible]	[illegible]
預金 合計	[illegible]	[illegible]
貸出 貸付	[illegible]	[illegible]
貸出 當越	[illegible]	[illegible]
貸出 割引	[illegible]	[illegible]
貸出 合計	[illegible]	[illegible]
有價證券	[illegible]	[illegible]
金銀在高	[illegible]	[illegible]

▲預金貸出各地別

	預金	貸出
東京	[illegible]	[illegible]
大阪	[illegible]	[illegible]
神戸	[illegible]	[illegible]
京都	[illegible]	[illegible]
橫濱	[illegible]	[illegible]
名古屋	[illegible]	[illegible]
廣島	[illegible]	[illegible]
關門	[illegible]	[illegible]
金澤	[illegible]	[illegible]
小樽	[illegible]	[illegible]
札幌	[illegible]	[illegible]
福岡	三九、三八[illegible]	三一、〇七[illegible]

▲大阪に在ても亦同様手形交換の如きも激少し同地手形交換所に於ける六日より十一日迄の交換高は十二萬四千七百六十枚にして此金額三億五千六百八萬三千百三十九圓錢高五千六百卅八萬七千百十圓之を前旬に比すれば枚數に於て八萬七千三百五十七枚此金額四千七百一萬一千四百十三圓錢高二百七十六萬四千三百六十圓の何れも減少を來せる有様未だ安定の曙光をだに見せざる有樣に候京取市場も何れは財界恢復の迄露命を保ち得るや否や疑はしきもの有之候へ共經濟界の小康もあらば多少元氣を恢復し得らるゝことゝ存ぜられ候

風塵錄

▲日比律賓の學生は比律賓總督に請願して日本人と一見區別出來るやうな制服を設けて貰いたい、と言ふ、さうせないと吾々は日本人と誤られ米國人から、あらゆる侮辱を受く、又就職口を捜しても相手にせないから困ると歎願に及び、以て米國人が如何に猛烈に日本人を排斥して居るかが判る、然して比律賓人と間違へらるゝ日本人も亦名譽なる哉である

▲鮮銀釜山支店員長澤長造(二八)と云ふは行金八千餘圓を横領して酒色に耽つて居つたが、昨日公判に付せられて居る、先頭は商業銀行員の行金横領、殖產銀行支店員の行金橫領等があつた、銀行員の橫領事件は續々として起る、何れも酒色の爲めである、京城では各銀行の若い連中が盛に各料理店で歡樂を極めて居るに入つて仕まつて、マーさんとかヤーさんとか言はれて悅に入つて居るが、彼等も百や二百の月給で遊べる筈は無い、何か暗い事をやつて居るに違ひない、但し京城の銀行では行金を盜用しても、返却さへすれば大概事濟みとなるのだから、銀行員は高を括つて居る

▲朝日京城驛前に居住する李星九なるもの赤池警務局長に建白して曰く、朝鮮に獨立運動が盛なのは耶蘇教や天道教の爲めであるから是等邪教を禁止して然るべしだ、其代り朝鮮に國教を定めて貰ひたいとの事である、其國教には何を以てするかは聞かない

▲無期停止を命ぜられたる朝鮮日報の連中は警務局に推し掛けて解禁を迫つて居るさうだが、當局者は頑として應じないので今更排日の祟りを後悔して居るさうな、二週間や三週間で解禁となつては無期停止の意味は沒却されるでは無いか、當局者の頑として應ぜないのは當然の事である。

間島自動車運轉

龍井上三峰間

間島延吉道尹公署では局市街と上三峰間に自動車の運轉を開始して旅客運輸の便を圖る計畫にて目下準備中なるが本年末に開通の見込也と

外交員名數募集

京城日日新聞社

三たび京電の無責任を責む

聽け！市民の聲を！　木本專務汝は耳を持たぬか

停電依然頻々として起り　晩は點燈遲く朝は未明に消燈す

京城電氣株式會社！汝は京城に於ける唯一の電力供給者である併も汝はこの唯一なる二文字が如何に汝の上に責任を重からしめてゐるかを自覺してゐるであらうか更に唯一なる者の無自覺の結果が如何に甚大なる損害と迷惑と不便とを府民の上に及ぼすものなるかを顧みたことがあるであらうか

更に更に 更に汝はこの損害と迷惑と不便とを如何にして改善し部民の上に滿足を能へんとして考へたことがあるであらうか吾人は躊躇なく汝を責任に無自覺なる者と云ひ府民の不便迷惑を顧みざる利己主義者と稱し更に何等改善を計らざる無能暗愚なる者也と呼ぶに憚らないものである吾人は嘗み汝が責任を蹂躪し府民を愚弄し傲然乎として存立せるその厚顏さに呆然たる者である吾人は嘗て本欄上に於て屢起る停電消燈を責め又

點燈時間 を早からしめよと敎へた其後既に旬日は過ぎ寶間は愈々短縮して薄暮の迫ること益早くなり點燈時間の遲きことは一層切實さを增して來た然るに汝は平然として未だ府民の不便と迷惑と損失とを顧慮することもなく今尚夏季其の儘の點燈時間を固持し一向變更しやうとはしないではないか斯くても汝は常に責任に忠實にして需要家の滿足を計るべく改善に努めつゝありと云ひ得るか元より吾人は諸設備の改善に對しては必ずしも一朝一夕にして行ひ得ずとするも敢て咎めない又停電の如きも必ずしも

汝の罪と のみ云ふ者ではない設備の改善には相當の資金と時日を要すべく停電も時に不可抗力的原因に基くものもあるであらうが點燈時間の變更は資金時日の關係と理由とに依つて敢行するを妨げらるべき性質の問題ではなく直ちに實行し得べき事も易々たる要求ではないか是をしも汝は傲然として默々としてゐる果していか是が唯一者たるの責任を有する者としての正當なる態度だと云ひ得るであらうか又朝は

仄の暗き 中に消燈す、是れ朝寢坊には何等の苦痛を感じないが、早起きの家や商店には最も苦痛と不便を感ずる所である、朝三十分間遲く消燈して貰いたいとは一般市民の聲である本社事務の耳には此聲の入らざる道理は無い知つて知らざる顏を裝ふは實に不都合極まる事である汝は現在の點燈時間をして僅に三十分間早からし自己の責任に目覺めると共に需要家の上に汝の責任をして完全に果すことを望むものである今や點燈時間を早からしむることは汝が取るべき最も焦眉の急務でなくてはならぬ吾人は京城府民と共に京城電氣株式會社に對し責任の自覺を促すと同時に點燈時間の改善を要求するのであるが

歡樂の爲 に電力を空費濫用したるの事實を有するでは汝は自己の利益を大にして絶叫し一方是が監督官廳のあまりに無干涉なるを怪しまないか吾人は臨機なる汝の速かに反省せんことを望むものである

支那に對する米國の根强い政策

船客の八分までが宣敎師で　夫れ等が奧地に入り込んで

親米主義と排日の宣傳

米國の支那に對する權力扶植に關的により增大擴張せんと陰謀として敎政にしても商路擴張にしても親米主義を以て宣敎師なるものを支那に向つて派遣しても殆どその全部宣傳を派遣して居る去る日曜日

上海へ入港 してエンプレスオブジヤパン號の一等船客一百五十名中その百十までは今回新に派遣をされた米國の宣敎師であつてこの宣敎師中には既に支那に十數年來あつて一時歸國し再び渡支したもの等が大半以上を占め新來のものは約四十五名に過ぎない支那に最も長く居住して居たものは三十五年と云ふ人が數名居るさうだ此れ等の人が先導にて上海より

支那の內地 に入り或一定の部所を定めて宣敎師が今後如何なる大活動をなすかといふことは實に日本としては大いに注意するに値することゝ思はる聞く處によるとまだ米國は今後續々と宣敎師を支那に輸入せんとする計畫がある

衆知の事實 であつて此の宣敎師なるもの數百人支那の奧地まで進入して居るかと云ふ事は誰しも想像だにつかない有樣で支那人の好感を得んと孜々たることとは明かなることで而して此米國の宣敎師政策なるものが着々として效を奏して

近來諸外國 が此の例に習はんとして居ることは段々と見える樣になつて來た支那學生の米國遊學も此の宣敎師によりて大部分は吸集されて居る米國は何とかしてこの政策をより完全により徹底さすさうである

朝鮮司法官の制服

七五三の桐花に唐草模樣　黑地に緋、紫、綠を應つたもの

始政記念日から實施　辯護士や書記も同樣になる

朝鮮總督府始政記念日に當る十月一日から司法官に內地同樣の法服が實施される大部分が東京大阪方面の專門洋服店に注文して調製中で京城で出來るものは殆どない

一式揃 へて普通品でも五十圓以上一寸品の好いものになると七八十圓するといふ法院判事は黑地桐花七五三及び唐草模樣を綠から緋に深紫色で圍んだもの高等法院判事は桐花が五三地方法院及び地方法院支廳判事は三三

桐花に 唐草を纏らつた純緋色の派手なものである冠は判事も檢事も變りはない黑地に綴紋を浮した威嚴あるものを冠るので裁判所書記も開廷中は黑地深紫の唐草の紋飾だけを付た法服に黑地の冠を着用するのであるがそれは裁判所の

階級に 係はらず同一で

論落の女カチユーシヤお葉　(三)

淺草公園のバーを漂らい歩く

若い遊蕩兒に依つて唄はれたカチユーシヤの名

男女は翌日神戸に引返して夜の七時に海岸通りから高松迄の切符を買つて前記の君が代丸に乘船した。そして船員の寢靜まる二時頃を見澄まして甲板上に飛び出て眞暗の樣に暖り輝いた物凄い水の面を見かけて身を躍らしたのである一番最初に發見したのが船舶室にあつた當番の運轉手で「身投だ」と叫ぶと擲け樣に警鐘が亂打された事である。汽船はスタリウから猛烈な泡を立てゝ停船した。端艇に乘つた船員が本船から照す探照燈の鋭い光りの下で永い間死體の搜索に努力した結果三十分程して

女の死體 のみが發見された、幸か不幸かお葉は一時間餘りして蘇へつたのである。汽船內の狹い醫務室の寢臺に横はつたお葉は次の寄航地多度津に運ばれ多度津から汽車で神戸の相生警察署に救護されたのが其翌日のことである。神戸からの急電を受け取つた主人島田の當時郷田島町に居住する當時お葉の篤い心遣ひ現は儉敷にも窮乏る樣な著しい

心中者の 片割「と言つて居た。「拐帶犯人の情婦」と云ふお葉を中心とする種々な浪漫說を當時の新聞紙上に隨分と歌はれた樣であつたが三ケ月も經つとそうした噂もいつとはなく消え去つて了つて御葉は再びエプロンの女として十二階横のバーに姿を現はすに到つた。御葉の持つて生れた妖艷な型が何時となく巾幗の殘で情死物語を背景として、公園をさすらひ歩く若い男達の噂の種となつたのである「カチユーシヤ御葉」の名々實にそうした男達に依つて唄はれたものであつて當時帝劇で演ぜられた松井須磨子のカチユーシヤが滿都の靑年をチャームした時であつて、御葉の美しい艶を手に生活をやつて居つた相である。其處へ再び引き取られたお葉は夢から醒めた樣な泛乎とした其日を送つて居た。

舞臺姿に 似寄つて居た。「須磨子のカチーシャ」と共に淺草公園のバーにも「カチユーシヤ御葉」の噂の花が咲き亂れたのであつた。二ケ月經して御葉は此處で一人の男と共鳴した。夫れは夜な夜な吉原堤の千束町の暗い辻に立つて、バイオリンの糸の音に淋しい流行歌を讀み賣りする苦學生と自稱する芝田と言ふ男であつた。芝田は夕暮に家を出て足ひく〳〵の夜の街をバイオリンを彈きつゝ一廻りし終ると殆ど日課の樣にしてバーに入つて來た。け共芝田に對するお葉の腕、態度、肉體の總てから或一つのヒントを攫み得て芝田は、そうした多數の眼のあるテーブルを挾んで

淡い歡樂 に讃ける程な初心な男ではなかつたので半ケ月もせぬ間に芝田はお葉をバーから引つ張り出して了つて下谷の薄暗い自分の下宿に連れ込んで了つた。

洋服が安く新調される

愈羅紗が下つて　最高當時から四割方低落

値下げせぬのは洋服屋の暴利

今春來財界不況と共に總ての物價が暴落したのにも拘はらず獨り洋服類のみは依然眠の王の飛び出る位な高價を維持して居つたが漸く最近に到つて舶來品和製品共羅紗相場が下落した爲め今秋の間着から先づ確實な處でオーバー地では十二三圓から十七八圓處がギー一ヤール十一圓から十六七圓位で其他梨降りメルトン六七圓から十圓スコツチ六七圓から十圓ラクダで十二三圓から十七八圓處から三四割方の安値の降りスコツチ五六圓から八九圓位で上物になると十四五圓、ラクダが十六七圓霜降メルトンやダクラは何らしても

洋服細民 とまで謳はれた月給生活者も先づ一息はつける筈である府內の洋服地卸商に就て調べて見ると舶來羅紗地は今夏大阪の輸入商が既に値下げを斷行すると共に一般羅紗商も二割方の値下げを斷行し最高價當時即ち本年三月の暴騰當時よりは約五割からの暴落であつて丁度昨秋の相場に立ち歸つた感がある現在舶來の極上物でフロック地一ヤール十九圓から二十四五圓

脊廣地で はスコッチ十五六圓から十八九圓新製サーヂが十八九圓から二十七八圓見當である

トンビ用 であつて無論地質に依つて種々高下もあらうが裏地がウンと下がつて居るから普通の處で三つ揃ひ背廣服が六七十圓見當で相當の物が出來る譯である洋服屋の口實としては仕立工賃が格安に行かぬと言ふ一點に歸するが然裏は普通十五六圓見當であるから算盤を彈いて見たらすぐ判る事で第一にも今秋間着が依然として安値にならなければ即ち夫れは洋服屋が機に乘じて暴利を貪つて居るからである

船長室に夫を斬る

離縁話から逆上して　朝郵京畿丸船長の妻の兇行

目下下關港碇泊中の朝鮮郵船京畿丸船長野田社松氏妻ユキ子(二三)は同船々長室に於て口論の末夫社松氏に擱り鋏を以て斬り付け後頭部に長さ一寸餘の傷を負はしめたり急報に依り出張せる水上署員の手

東宮殿下に巨熊獻上

セ將軍から

第五師團のチタ撤兵に際しセミヨノフ將軍は體重五十貫の大熊一頭を東宮殿下に獻上すべく鈴木師團長に託送せるが右の熊は師團司令部に着し近く東京に送り獻上の運びに至るべし

威信と

(前略)…施の制服が八月中法服が…發布された通りた…も內地と等しく白色唐草模樣…付は黑地の法廷服に判檢事同樣の冠を用ふるのである金ピカの制服廢止以來法廷に於ける係り官の服裝が區々であつて稍秩序と

威信と を飮く嫌みがあつたが愈型の如き法服を着用した裁判官檢察官辯護士によつて裁判が開かれ進行する事となつた三部に本筋時代より一段權威を增す事でびに至るべし

誤つて池中に落つ

佛大統領の辭職原因

デーリーエキスプレス紙所報に依れば佛國大統領デシヤネル氏はラングエーの庭園を單獨にて散歩中誤つて池中に落込みしも容易に這上がれず長時間池中に浴り居たる處が漸く通り掛れる園丁に救助されたり其の時は氏は氣息奄々として生色なかりしが爾來激烈なる神經衰弱に罹りしものなりしと…に頭抑へられたるが右松氏は佐島病院に入院加療中なるが生命には別條なしと原因は離縁話の末逆上したるものなりと(下關來電)

十美人人氣投票開票

投票締切延期と立會開票決定

最後締切は二十四日午後七時と決定す

京龍粹人の人氣を集めた券番十美人人氣投票は既報本日正午を以て締切の豫定の所各所よりの熱望あり旁各位からの御意見もありたる爲め特に四日間を延期して

二十四日午後七時（本社編輯局備付の時計）を以て締切る事と決定しましたから右樣御承知ありたく猶當日は正午を以て各所設置の投票箱を全部引揚げ其れ以後は本社に於て直接投票を受付ける事と致しますから之れ又御間違ひのない樣に急告致して置きます

同二十五日午後一時より本社內に於て左記各位の立會の上公平なる開票を行ふ事と致します

本町警察署派遣警察官　大久保雅彥氏
本社相談役　大垣丈夫氏
四券番より各一名
本社幹部並に投票係員

追つて二十六日午前十時より本社…館に於て當選者諸嬢の賞品授與式を擧行致します

第廿一回

九月十九日正午迄

當然京龍美香三千餘票を擁つて三役を一蹴すれば高千代、千代龍の新鋭圏內に肉迫して既に急轉直下敵

五六九二票	京花柳	伊達清
四七四四票	新芳本	桃葉
四五二六票	中泉家	金吾
三二三二票	新仙榮	壽美香
二五五六票	東○丸	○子
二三九九票	京いちい	多美三
一七七六票	京高砂	照葉
一一七三票	京丸家	玉良
一一五〇票	新千代の家	千代吉
一一三二票	新文の家	鶴千代
一〇五九票	京大黑	菊蝶
一〇一四票	新千代の家	高千代
一〇一四票	京菊水	千代駒
一〇〇七票	同	成龍
七〇三票	中布袋家	國俊
七三二票	京千登世	一龍
六八二票	京菊水	萬八
六七〇票	同	豆蝶
六二二票	新辰中	智惠
六〇九票	京大和家	福千代
四七七票	京濱水	存次
四〇九票	中泉家	艷幸
三八三票	京河內家	金太郎
三〇七票	中井筒家	玉太奴
三〇一票	中新花月	吉太
二五五票	新辰中	ぼん
二五三票	中布袋家	小卷

五〇〇票	京千登世	小萬
五〇〇票	同新家	やんちや
四九〇票	同	小よし
四七〇票	京千登世	常香
四七〇票	中音羽家	大八
四七〇票	中花本	おそ
四六〇票	新仙榮	加代
四〇〇票	京むさしや	三子
四〇〇票	新花房	花奴
四〇〇票	新玉家	玉次
三四〇票	京花家	メ太
三四〇票	京大黑	千奴
三一〇票	京河內家	お民
三一〇票	中綠家	メ存
三〇〇票	京菊水	菊龍
二七〇票	中音羽家	貞二
二七〇票	新辰中	久松
二四〇票	東花仙	小葉
二三〇票	新静家	月瀬
二〇〇票	東花仙	梅野
二〇〇票	東玉家	花代
一五〇票	新千代遷家	千代葉
一四〇票	新辰中	駒吉
一三〇票	京むさしや	三太
一三〇票	新しづや	喜選
一一〇票	中新花月	ひで

十票以下略す

京龍人氣男投票

詳細は追而發表

四券番藝妓美人々氣投票も終了に近きました本紙は更らに新らしい催しとして京龍人氣の投票を開始して官民を問はず社會各方面に各階級を通じて廣く人氣ある人物を選定したいと思ひます詳細に追而發表す

二五七票	京成田家	一勇
二〇八票	中布袋家	國八
二〇三票	新紅家	玉奴
一七九票	京淸水	小葉
一六八票	中音羽家	秀千
一六三票	中花本	菊千
一六一票	京淸水	愛若
五二一票	中新花月	一奴
五〇二票	京瀧水	萬代
四九一票	中布袋家	一奴
四四五票	京海老家	敏若
四四四票	京仲駒	次郎
四〇〇票	中ふみの家	秀駒
四〇〇票	中品家	幸二
三九〇票	中いそべ	波く
三二一票	中新花月	智子
一九一票	新辰中	玉子
一〇一票	京丸家	富次
一〇〇票	千登世	秀
一〇〇票	京仲駒	小代
一〇〇票	大和家	團助
九三票	京成田家	小千奴
九一票	京淸水	吉代
九〇票	東錦山	寄
八八票	新紅家	桃光
八六票	中新花月	太鏃
八六票	京いちよう	染郎
七四票	新紅家	勇
七三票	中新花月	八
七一票	京千登世	奴
六八票	新仙榮	葉
六七票	中吉田家	若
六五票	京成田家	奴
五六票	讀ゑびすや	子
五三票	新紅家	子

賞品配布決定

▼一等賞　優美額緣附半身大寫眞並に眞象牙製紀念撥
十八金婦人用指輪　三越吳服店
婦人用防水コート一着　東京屋本店
純金製寶石入指輪　橫堀貴金屬店
婦人用パック　夏川小間物店
天日草編製手提鞄　海市商店
高麗燒花瓶　富田出張店
化粧袋　日之丸小間物店
フートボール　シノサキ文具店
牛乳消毒器　熊平商店

▼二等賞　優美額緣附半身大寫眞並に眞象牙製紀念撥
絹製パック　アサヒ屋小間物店
牛セビヤ手提鞄　高木屋鞄店
極上高麗燒花瓶　富田出張店
美術前額　淺川額緣商店
大島紬地壹掛　勝久商店
利休下駄一足　松島屋
タオル　明治屋

▼三等賞　優美額緣附半身大寫眞並に眞象牙製紀念撥
婦人用パック　夏川小間物店
女表付駒下駄壹足　井上履物店
キリンビールタオル　明治屋
美術額　淺川額緣店
婦人持上等煙草入　サクラビール部
牛乳消毒器　熊平商店
刺繡入半襟一掛　松菊小間物店

▼四等賞　中形寫眞優美額緣共眞象牙製紀念撥
キリンビールタオル　明治屋
特製優美蛇目傘　旭や商店
美術置時計　野田時計店
婦人持上等煙草入　サクラビール部
復音大正琴　釘本樂器店
牛乳消毒器　熊平商店

▼五等賞　中形寫眞優美額緣共眞象牙製紀念撥
キリンビールタオル　明治屋
特製優美蛇目傘　旭や商店
麝香練製九星石鹼　朝日石鹼株式會社
復音大正琴　釘本樂器店
婦人持上等煙草入　サクラビール部

▼六等賞　眞象牙製紀念撥
特製優美蛇目傘　旭や商店
麝香練製九星石鹼　朝日石鹼株式會社
復音大正琴　釘本樂器店
柱掛鏡　サクラビール部

▼七等賞　眞象牙製紀念撥
化粧石鹼京美人　朝日石鹼株式會社
金剛石鹼頭　…
柱掛鏡　サクラビール部

▼八等賞　眞象牙製紀念撥
九谷燒婦人用湯吞　石川物產商會
金剛石鹼　朝日石鹼株式會社
柱掛鏡　サクラビール部

▼九等賞　眞象牙製紀念撥
九谷燒婦人用湯吞　石川物產商會
金剛石鹼　…
婦人持上等煙草入　サクラビール部

▼十等賞　眞象牙製紀念撥
九谷燒婦人用湯吞　石川物產商會
婦人持上等煙草入　サクラビール部

菓子券十枚　本城
（婦人用）十本　パイン萬年筆製作所
同　小田萬年筆店
同　小田萬年筆店
百美人歌本二十冊　ウツボヤ書店
レターペーパー二十冊　町田新聞店
ペルミン二十罐　和光堂京城支店
寒暖計十本　村木時計店
稽古用撥十本　米川琴三味線店
優待券五十枚　寶金
觀劇招待（十美人に）（文案席取め）　浪花館
ざるそば券十五枚　旭
右の寄贈品は各等級者に對して平均に配布す事と決定しました

本社主催觀劇會

新涼郊墟に入り燈火稍親むべき初秋を迎へました秋は絶好の觀劇シーズンでございます本社は茲に目下本町壽館に開演中の喜劇蝶々會の輕妙なる諷刺劇を機とし不日晝夜二回に亘り讀者慰安觀劇會及び招待觀劇會を開催の事に決定致しました詳細は追つて發表致します

壽館開演中の蝶々會

小栗判官照手姫　〔七十八〕

旭亭櫻山口演

夜叉も存外脆い

小賊「サア步け〳〵」繩尻を取つて四人の者を海賊の船へ引立てゝ行く、先刻から此方に控つた海賊の頭らしい漢が艫の間の處に突立ち、長い刀を杖にして、仕事は何うかと待つて居る、やがて其前へ來た小頭は小頭「御頭」一頭「何だ」小「どうも貧乏人ばかり乘込んでる船で、懷中を探つても金のある奴がねえには驚いた、併し何處へか隱しでもしやがつたかと思ひ、今未だ手下を半分殘して搜さして居ますが、其中で此の商人と六十六部の兩人丈は、幾らか持つて居やがる樣に、何と言つても澁さねえから、捕縛つて引立てゝ來やした、頭から一つ引導を授けてやつてお與んなせえまし」頭「コレ俺は此の沖を荒して步く金剛夜叉丸といふ海賊だ、臨終の際になつて、假令百萬陀羅助けて呉れと拜んだ處で、もう見逃す事は出來ねえ、義理も人情もねえのが盜賊の持ち前だ、サア四人共持ち金殘らず出してしまへ」此奴が海賊の頭か、と思ふから、後藤兵助、ヒヨイと庄司助に目配せをすると、庄司心得て忽ち總身に力を入れ、エイツといふと道は押如何に高手小手に縛げてある繩が、苦を立てブツ〳〵と切れて了つた、是には如何な頭も度膽を拔かれて思はず後へ下がる間に庄司は兵助に飛び付いて繩を拂ひ、又大八の繩を解く助は太郎の繩を拂つて四人とも自由自在の身體となつた兵助大音を張り上げて兵「賊共見る〳〵こそ我々四人、天下に隱れもなき…は、今ぞこの禮を誅戮する、覺悟に及べ」といふ聲の終りもあらぬ其內に、前に立つたる池の庄司、拳を固めて小頭の橫面をボカリ撲る、と、アツといつて打倒れ、其餘勢をかつて一打ちさばくと…小賊「合點だ」と拔き連れ打ちかゝるを、兵助八六躍り込んで彼方の得物を奪ひ取り、片端から打倒す、助太は得物に小賊の刀を以て打拂ふと、是も小賊の…中に小賊共を大勢其れへ…ち倒す、其間太郎は片隅に…を組んで見て居りますか…が變に思つて兵「太郎、…働きぶりを眞似ろとア…助けたに、何故貴樣は…立つて居る」太「だつて太…見てから働けと仰しやるか…居りました、それでは是か…るから、今日は幸ひ人間の…覺いて呉れやう」とノソ〳〵進み出した小賊は驚いて小…だ〳〵人間の口を裂くのだ…殺ちやアねえ、氣を附けろ〳〵…るものか、頭の金剛夜叉丸、後…中に頭を狙つて、切先鋭く切…不意を襲はれ、心得たりと兵助は、…來た、脆を躱して空を切らせる、…びて夜叉はいよ〳〵暴れ出し…あつて、幾分の手答へがあ…兵助心に感じながら、又も…手許に附け入り、ウーンといつて…倒れると、エイと一…び掛つて一擊に擲り殺さ…兵「アヽ殺すな〳〵」…兵「サア小賊共、汝等神妙…せば好し、若し神妙に致さ…ては頭の命を絶つが何ら…殺されてしまつては大…へエツといつて皆一つ…端から殘らず縛られた處を、